

いい空気に毎日ウキウキ
細部にこだわりの詰まった
安らぎの我が家



人が集まるリビングにしたいと、キッチンからリビング、和室の1F空間の心地よさに力を注ぎました。すっかりモミの木のファンになってくれたお2人はテーブルもテレビ台もモミの木で揃えていただきました。

2013年11月に入居。じっくり作り上げた我が家は「家から出たくないほど心地良く、寒い朝でも家の中はほんのり暖かくて結露もなし。」「モミの木のいい香りの快適な空気に包まれて本当に気持ちいい。毎日が楽しいです。」

「中に入ったなら木のいい香りが出て、裸足で歩いたモミの木の床の感触があまりに心地よくて心を奪われました」
2012年7月に初めてモデルハウスを訪れたときのモミの木の家の印象を伺うと、うれしそうにこう話してくれましたMさんご夫妻。アパートが東日本大震災の津波の被害を受け、その後引っ越した部屋も被災後に簡易なリフォームを行っただけだったせいも、常に湿気やカビに悩まされていたそう。「風邪を引きやすかったり、主人のアレルギーが悪化したり、室内の空気環境に敏感だったこともあって、モミの木の家の空気の良さに感激したんです」
念願の我が家を建てるにあたって、たくさんの夢をお持ちだった奥さま。設計図に全部詰め込もうと、悩みすぎて疲れ果て途中で一度「もうやめよう」と挫折しかけたとか。そんな奥さまに寄り添っていたご主人。「2人とも津波から助かって、家を建てることまでできるんだから後悔しない家にしたいいね」とやさしく見守っていたそうです。工事中は毎日のように現場を訪れていた奥さま。楽しそうに夢を語る「愛されキャラ」だけに大工さんとも仲良しに。その場でアイデアが出て作り上げた箇所もあるそうです。



担当より一言

営業 石井

ご来場時、ご主人のお話の中で「11の津波で被災され、今は古いアパートに移られていることを知りました。その時に、奥様のマイホームにける夢が大きく膨らんで、いろいろと熱く語られる言葉から感じることが出来ました。若いご夫妻の家造りへのこだわりを叶える為に、こうして、こうやって、こうしなければならぬ的なアドバイスと、ご希望をコンパクトにまとめたいと宣言をし（奥様は拒否反応が大きかったかな）、笑、アパートでの打合せ。環境の悪さに驚きを隠せず言っていました。こんな所にいたら病気になる、ちやいますよ、から始まりましたが、絆余曲折、山あり谷あり、一生懸命お互いが3人4脚で走り、途中から設計の浦山、工事の高橋も加わり、5人も脚での力走。テープを切った結果一等賞となりましたかね。これからはどうぞ宜しくお願い致します。」



リビングとのつながりを考え、琉球風畳の周りにモミの木を施しナチュラルな雰囲気。に。押入れ収納の下にスペースを設けると空間に広がりが出ます。



インターネットで取り寄せたスタンドグラス。リビングのアクセントになり、廊下側では明かり取りになっています。



玄関ホール壁のRのカーブが可愛いニッチ。季節のプチインテリアを置くのが楽しくなります。



奥さまがずっと憧れていた家具メーカーの食器棚にぴったりと寸法を合わせてキッチンデザイン。カウンターの高さやパントリーの色合いも合わせているので、作り付けの家具の様に美しく収まっています。



リビングから見たキッチン。奥さまこだわりの絶妙なRの角度が額縁のようにキッチンの景色を際立たせて見せてくれます。カウンターでお茶やお酒を楽しむのがご主人のお気に入り。



CASE39:宮城県東松島市 Mさんのお宅

家族構成:ご主人、奥さま
延べ床面積:33坪 部屋:4LDK
こだわり設備:モミの木の床、モミの木天井、スピンオフ壁



階段の吹き抜けには高さを生かした吊り上げタイプの照明を。2色使いのペンダントライトは「ずっと眺めていてもあきない」と奥さま。



モミの木の折上げ天井。部屋の印象をくっきりとやさしい雰囲気にするだけでなく、モミの木の効果も倍増します。



ムリ言って書斎でのエアージョブ。やさしいご主人です。 大容量のシューズクロー。コート掛けのスペースも。



2F寝室の奥は屋根裏収納。こじんまりとした空間が気に入って、今はくつろぎスペースに。